

平成 12 年 10 月

愛知万博の概要と経済効果

日本政策投資銀行東海支店
企画調査課

はじめに

2005 年日本国際博覧会（愛知万博）の登録申請が、9 月 19 日の閣議決定を経て、同日博覧会国際事務局（BIE）に登録申請された。12 月 15 日の BIE 総会で国際博として正式な登録承認を目指す。「自然の叡知」をテーマの愛知万博は、海上の森（愛知県瀬戸市）での会場建設や跡地開発が自然破壊につながるとして、市民団体や BIE から強い批判を受け、計画を大幅に変更するなど揺れ続けたが、1988 年に愛知県が構想を発表してから 12 年で、閣議決定、登録申請となった。

1. 概要（表 1 を参照）

正式名称	2005 年日本国際博覧会
会場	海上の森（愛知県瀬戸市）、愛知青少年公園（愛知県長久手町）他
開催期間	2005 年 3 月 25 日(金)～9 月 25 日(日)（185 日間）
テーマ	「自然の叡智」
サブテーマ	宇宙、生命と情報 人生の“わざ”と智慧 循環型社会
入場料	大人 5,000 円。子供や団体を含めた平均 2,750 円を想定
想定入場者数	1,500 万人
会場建設費	1,350 億円
運営費	550 億円

会場計画

会場は、海上の森、愛知青少年公園、科学技術交流センター予定地（愛知県豊田市）で登録面積は約 182ha。このうち主要施設地区等として活用する面積は約 37ha、展示・催物施設面積は約 9ha となる。

海上の森会場...「自然の叡智」を具体化するシンボルゾーン。約 19ha で会場全体の 10 分の 1。活用面積は、約 9.45ha。そこに政府シンボル館、愛知県の自治体館、3 つのサブテーマ館に合わせたテーマ館が立ち並ぶ。ここでは、特殊なゴーグルをつけて森を歩くと本物の木々の間で、絶滅したニホンオオカミが走り、4m 近いダチョウの仲間のモアが草を食べる。映像と現実が組み合わさり不思議な空間を体験できる仕組。

愛知青少年公園会場...賑わいのある主要施設を収容するゾーン。約 155ha。中央部にテーマゾーン、それを取り巻くように公式出店ゾーンを設ける。集客力が期待でき

る一般出店ゾーンは、北側の動線に沿って配置する。

アクセス

会場は名古屋駅から東に約 20km、同駅等からシャトルバスで高速を走るか、JR 中央線経由で第 3 セクターの愛知環状鉄道八草駅まで行き、シャトルバスに乗り換える。電車では直接入場できない。マイカーは、会場周辺や近郊の高速道路のインター付近など、計 7 ヶ所の駐車場までしか近づけないようパーク・アンド・ライド方式を採用し、そこからシャトルバスで会場まで行く。団体バスだけは、直接乗り入れられる。

入場者数

会場縮小により、当初 2,500 万人と想定していた入場者数を、40%減の 1,500 万人に下方修正したが、1800 万人を目標として努力するとしている。

しかし、インターネット等の情報技術を活用し、世界中の人々が実際に会場を訪れなくても、自然との触れあいを実感できるように工夫を行うとしている。

資金（表 2 を参照）

博覧会協会は、会場建設費 1,350 億円と発表した。昨年 11 月に約 1,800 億円と試算されたが、その後海上の森会場の縮小に伴い、8 月末には 1,450 億円に、さらに環境に配慮した新エネルギーでまかなうパビリオンの縮小、動く歩道やエスカレーター数を減らすなどして 100 億円圧縮した。内訳は、土木関係工事費が 350 億円、会場施設整備 300 億円、供給処理施設 200 億円、テーマ関連施設 100 億円、駐車場と会場輸送など 250 億円。国、地方自治体、民間（財界）が 3 分の 1 ずつ各 450 億円を出し合う。自治体負担は、3 : 1 の割合で愛知県と名古屋市が支出する。民間負担分は、公営ギャンブルからの補助金を差し引いた額を地元財界、中央財界が折半する考え。但し、海上の森会場に造られる国と県の恒久施設、三つのテーマ館の建設費や出店費はこれに含まず、国、県が独自に支出する。

一方、運営費は 550 億円。収入内訳は、入場料が 350 億円、営業権利金収入などで 200 億円。支出は、テーマ展示費、催事費等で 180 億円、会場管理費 140 億円、運営経費 130 億円、BIE への納付金等 100 億円となる。入場料は、大人 5,000 円、子供や家族、夜間などの割引を考慮して平均で 2,750 円を見込む。

跡地計画

海上の森地区については、地球環境や自然との関わり方等を学習する場として、青少年公園地区については、スポーツ施設や文化レクリエーション機能の充実を図りながら公園として再整備する方向で検討されている。

2 . 経済効果（表 3 を参照）

今回の計画見直しを踏まえ、入場者数 1,500 万人を前提に万博による経済効果を試算すると、会場建設費（1,350 億円）、交通アクセス整備費（1,300 億円）、宿泊施設

整備費（625 億円）、来場者による消費（旅費 780 億円及び宿泊費等 2,970 億円）と
いう 4 つの支出項目及びこれに伴う波及効果を合わせた金額は約 1.1 兆円、間接効果
も含めた経済効果全体では約 1.4 兆円となる。

なお、入場者数 1,500 万人は最低限の目標であり、より高い目標の達成に向けて関係
者の間で努力されていること、既存施設の開放等、地域の魅力向上を通じた経済効
果の拡大が経済団体等を中心に計画されていること、社会資本ストックの供給力効
果の上昇も期待されること、を鑑みると、実際の経済効果はさらに大きなものになる
可能性は充分ある。

3. おわりに

愛知万博は、自然との共生を優先し、当初予定していた会場の跡地開発をとり止め、
開催規模も縮小されることとなった。これにより経済効果も当然のことながら縮小す
ることとなるが、もとより万博の成否は経済効果の大きさのみで判断されるものでは
ない。経済効果以上に、この万博により世界に何を発信し、地域に何を残すかが重要
なのは言うまでもない。

- お問い合わせ先 -

東海支店企画調査課 北村、山本 TEL 052-231-7564

表1. 会場計画などの移り変わり

	できごと	会場と規模	想定入場者数	跡地	道路	会場建設費
1994. 6	地元基本構想まとまる	海上の森で650ha	4000万人	新住宅計画	名古屋瀬戸道路など	2500-3000億円
1995. 12	閣議了解	海上の森で540ha	2500万人	同上	同上	96/8:1000-1500億円
1999. 5	オオタカ営巣発見	愛知青少年公園200haと科学技術交流センター20haを追加	同上	同上	同上	
2000. 1	BIE批判発覚	同上	同上	同上	同上	99/11:1800億円
2000. 4	見直し案	海上の森は5-20ha 愛知青少年公園は一部拡張(未定)	引き下げ(数未定)	新住宅計画は中止し県営公園に	名古屋瀬戸道路は愛知県立大付近先から中止	
2000. 8	見直し案	約182ha(海上の森:約19ha, 青少年公園:約155ha)	同上	海上地区:学習する場として 青少年公園:公園として再整備	一部道路を建設	1450億円
2000. 9	登録申請	同上	1500万人	同上	同上	1350億円

(資料)新聞記事等により作成

表2. 会場建設費・運営費 内訳

1 会場建設費

<収入>

(単位:億円)

項目	金額	説明
1 国庫補助金	450	—
2 地方自治体補助金	450	—
3 民間等	450	施設参加、公営競技収入 等
合計	1,350	—

<支出>

(単位:億円)

項目	金額	説明
1 土木関係工事	350	造成・外構工事、人工地盤(テッキ)、移動補助手段、交通ターミナル 等
2 会場施設整備	300	展示・催事施設、管理施設、営業施設 等
3 供給処理施設整備	200	電気、ガス、上下水道 等
4 テーマ関連施設整備	100	森林体感施設、IT関連、新エネルギー 等
5 その他の整備費	250	駐車場(団体バス、自家用車)、会場内連絡輸送 等
6 その他	150	調査設計費、アセス費用、消費税 等
合計	1,350	—

2 運営費

<収入>

(単位:億円)

項目	金額	説明
1 入場料収入	350	入場者数1,500万人、平均単価2,750円、有料入場者比率85%
2 その他	200	営業権利金収入、マーク等使用料収入、受託収入、公営競技からの補助金収入 等
合計	550	—

<支出>

(単位:億円)

項目	金額	説明
1 博覧会を盛り上げる経費	180	テーマ展示費、催事費、環境対策費、広報宣伝費 等
2 会場管理経費	140	場内輸送費、会場警備費、清掃衛生費、供給処理施設管理費 等
3 協会の運営経費	130	諸給与費、一般管理費 等
4 その他の経費	100	観客対策費、BIEへの入場料納付金、特別会計繰り出し金 等
合計	550	—

(注) BIEへの入場料納付金は、BIE総会において総入場料収入の1%と決められている。

(資料) (財)2005年日本国際博覧会協会

表3. 経済効果

(単位:億円)

	直接効果			愛知県 GDP比	間接効果	直接効果 +間接効果	愛知県GDP比
	増加額 (A)	付加価値 誘発額(B)	合計 (A)+(B)		付加価値 誘発額(C)	(A)+(B)+(C)	
全 体	7,025	4,120	11,145	3.4%	3,290	14,435	4.4%
消 費	3,750	2,300	6,050	1.8%	1,860	7,910	2.4%
旅費	780	480	1,260	0.4%	390	1,650	0.5%
宿泊費等	2,970	1,820	4,790	1.5%	1,470	6,260	1.9%
投 資	3,275	1,820	5,095	1.5%	1,430	6,525	2.0%
会場建設費	1,350	750	2,100	0.6%	590	2,690	0.8%
交通アクセス整備費	1,300	720	2,020	0.6%	560	2,580	0.8%
ホテル増設費	625	350	975	0.3%	280	1,255	0.4%

(注) 愛知県GDPは97年度。

(資料) 「平成7年あいちの産業連関表」により作成